



研究主題

生涯にわたる豊かな学びを目指した授業づくり
～児童生徒の夢や願いを基点とした

「わかはとシステム」の活用～

「対話」を大切にした児童生徒との面談

「私の応援計画」（本人主体の「個別的教育支援計画」）作成に当たり、保護者との面談と、児童生徒本人との面談を年3回行っています。本人との面談の際には、生涯学習力を見取る視点（わかはとモデル）を活用し、対話を大切にしています。また、児童生徒に合わせたツールを活用し、夢や願いを引き出す工夫を行っています。

今回は、各学部の面談の様子を紹介します。



「生涯学習力」の広がりや深まりのモデル			
人とつながる	なまなましいしな	人となりをもちと広げようとする	人となりを広げよう、深めようとする
情報を集める	見てみよう、聞いてみようといっている	見て聞いて調べようとする	経験を生かそうとする
試す	やってみようといっている	考えて試してみようといっている	挑戦し続けようとする
自分を知る	好きなのを知ろうとしている	いろいろな自分を知ろうとしている	新たな自分を知ろうとしている

「生涯学習力」を広げり深めたりするための基盤 **【好奇心】** **【興味・関心】** **【夢中】**

わかとはモデル ～「生涯学習力」を見取る視点～

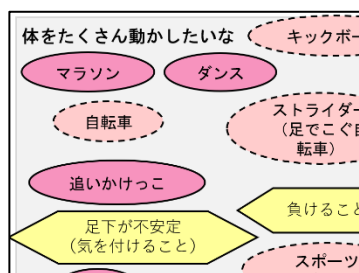


図1:「思いいっぱいシート」(抜粋)

小学部では児童の好きなことややってみたいことを面談で聞き取り、「思いいっぱいシート」を作成しています。Aさんとの面談では、紙に書いてやりとりをしました。誰と行きたいか（人をつながる視点）、どうやって調べるか（情報を集める視点）はイラストや選択肢を提示しました。

児童の思いの見取りや意味付け、具体的な場面を想起できるような工夫、保護者面談や引き継ぎ資料で得た情報の活用などが大切だと感じています。表出が難しい児童の思いをどう見取るか、試行錯誤をしています。

お弁当屋さんでどんなお仕事やりたい？



図2：「ゆめシート」（抜粋）

中学部では「ゆめシート」に将来の夢やなりたい自分を挙げ、そこに近づくために必要なことについて面談を通して考え、書いています。

面談期間中、職員で面談の様子をビデオ視聴し、生徒への質問の在り方や受け止め方、新入生への配慮などについての意見交換や情報共有を行いました。これまで当たり前のように行っていた面談について、教師の抱える悩みや日頃感じている難しさを共有し、今後に必要なことを確認できました。

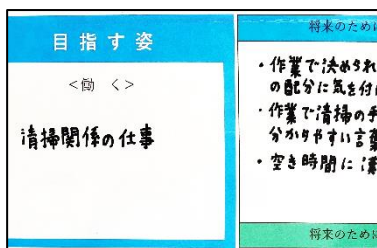
A photograph showing two students, a girl on the left wearing a white face mask and a boy on the right, both looking down intently at a task they are working on together. The background shows a classroom setting with windows and ceiling lights. The Japanese text '作る' (tsukuru - to make) is overlaid on the bottom right of the image.

図3：生徒版「私の応援計画」(抜粋)

高等部では生徒版「私の応援計画」に自身の思いや願いを記入しています。それらの願いを叶えるために「学校では…」「現場実習では…」「家庭では…」と、それぞれの場面で取り組むべきことを教師との対話を通して考えました。

生徒の思いを引き出したり、思考を整理したりするために、文字やイラストを提示しながら対話を進めることもありました。誰とやってみたいか（人とつながる視点）、どんな気持ちだったか（自分を知る視点）など、思いを具体的に聞き取ることを意識して面談を行いました。

御 案 内

卒業生の語りを中心に

夏のセミナー（シンポジウム）

「夢や願いの実現に向けた『生涯にわたる豊かな学び』とは？」

令和6年 8月21日(水)

会場：秋田大学手形キャンパス

公開研究協議会

令和6年 11月2日(土)

会場：本校

○●皆様のご参加をお待ちしております●○